

商品の素晴らしさをPR
クリエイター塾生が映像を作成

ことしのクリエイター塾は、塾生が8チームに分かれて映像を制作しています。課題企業4社のECサイト(ネットショップ)を構築して、映像で商品の素晴らしさや作り手の思いを表現しています。

塾生がストーリーを企画し、撮影・編集した映像からどんなものが伝わるか、ぜひご覧ください。



塾生の撮影風景

合志市の防災力向上のために
災害協定を締結しました

10月20日、自然電力株式会社と、災害時における防災活動への協力に関する協定を締結しました。

これは災害時に蓄電池システムや簡易太陽光電池などの備品、子ども・若者の教育環境の提供および心のケアを行なう民間団体を紹介するとともに、平常時も相互の情報交換および防災拠点となる施設などの防災機能の強化を図っていくものです。

この協定により、市の防災力の向上が期待されます。



左から荒木市長、長谷川代表取締役

地域の守り神として
下町天満宮遷座祭

9月30日、下町天満宮で遷座祭が開催されました。これは、熊本地震で損壊した御堂を修繕する間、別の場所で保管していた御神体を天満宮に移すために行なわれたものです。

下町天満宮は、地域の守り神として、親しまれており、地元の人たちは「私たちにあってはならない大切な場所なので、ほっとしています」と話していました。



地域の皆さんを見守っています

須屋剣友会が大会2連覇の快挙
第61回会長旗争奪菊池少年剣道大会

9月22日、菊池市総合体育館で第61回会長旗争奪菊池少年剣道大会が開催され、須屋剣友会が出場しました。同会は低学年の部(1~4年生の部)で優勝し、大会2連覇を果たしました。新型コロナウイルスの影響により、本年度初めての大会出場となりましたが、子どもたちは「みんなと試合ができて嬉しかった。また明日からの稽古を頑張りたい」と力強く語っています。



来年も優勝を目指します

泉ヶ丘自治会
宝くじ助成事業で備品を整備

泉ヶ丘自治会が夏祭りに使用する備品を、宝くじ助成事業で整備しました。

これは、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としたコミュニティ助成事業によるものです。この事業は、(一財)自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に実施しているもので、今後、同自治会のさらなる活性化が期待されます。



整備した倉庫

手のひらサイズのイチゴ畑
新商品“わたしの、いちご”開発

市内農業者の吉廣浩司さん(辻)が家庭で手軽にイチゴ栽培を楽しめる新商品“わたしの、いちご”を開発しました。これは、農学博士で市地域特産品開発アドバイザーの山川理さんの監修により、平成30年度から研究を行っていたものです。

クリスマスシーズンに合わせて、自分でおいしく育てたイチゴを収穫し、いろいろなシーンに合わせて楽しむことができます。



地域の物産館で販売中(数量限定)

人権擁護活動の功績をたたえて
法務大臣感謝状贈呈式

10月13日、市役所で人権擁護委員として人権思想の普及、高揚に永年にわたり尽くされた上田一男さん(東)へ、法務大臣感謝状の贈呈を行ないました。

これは上田さんの6年間、同委員を務めた功績が認められたことによるものです。式に出席した荒木市長からは、「人権擁護の推進にご尽力いただきありがとうございました」と上田さんの活躍と退任に対して、惜しみない賞賛と感謝の言葉がありました。



左から荒木市長、上田さん、中島教育長

アマランサスを商品化
第50回食品産業技術功労賞を受賞

10月9日、熊本製粉株式会社が第50回食品産業技術功労賞で地方発部門を受賞しました。

これは、国内の食品産業の発展に著しく貢献した技術および商品を開発した者を表彰するものです。合志農業活力プロジェクトの一環として、市内農業者の野田泰行さん(油古閑)が栽培したアマランサスを同社が商品化。アマランサスは雑穀で栄養価が高く、今後さまざまな新商品開発が期待されます。



アマランサスと生産者の野田さん